

# 若狭ネット

第130号 2011年 5月24日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先●福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630)●大阪：日高原発に

反対する大阪の会(〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

大地震、大津波、原発災害の三重苦  
事故収束に最大限の力を注げ！

## すべての原発を止めよう！

### 6.11 脱原発 世界同日アクション

#### 原発いらん！ 関西行動 第2弾

— 関電は原子力からの撤退を —  
集まろう！中之島へ 届けよう！原発やめての声を

一人ひとりの思いを込めて、家族や友人との寄せ書きやグループの要請文を書いてきてください。

当日集会時に本部に提出してください。後日、代表団が関電に届けます。

とき 6月11日(土)

2:00~2:30

集会 中之島剣崎公園

(中之島公園東エリア)

3:00~4:30

デモ 御堂筋南下予定

淀屋橋—本町—心齋橋—ナンバ



京阪北浜駅/地下鉄堺筋線北浜駅  
から歩3分  
京阪淀屋橋駅/地下鉄御堂筋線淀  
屋橋駅から歩7分

チェルノブイリ原発事故25年に当たる

4月26日に、関西電力本社に申し入れをし、  
公開質問書を提出しました。

- ① 福島第一原発事故勃発に関する  
電力会社の責任と謝罪
- ② 原発の耐震性評価
- ③ 美浜原発の閉鎖



(4月16日 大阪 御堂筋を)

④ 「止める、冷やす、閉じ込める」、「5重の壁」、「多重防護」の破綻の4つの項について回答を求めましたが、1ヶ月近く経っても未だに返答がありません。

浜岡原発は全炉止めました。

関西電力の原発も一日も早く止めるように運動を強める必要があります。

そこで、私たちは、6月11日「原発いらん！関西行動(第2弾)」に結集するよう呼びかけます。また、皆さん、関西電力に要請文を出しましょう。

関西電力に私たちの「原発を止めて下さい」との思いをきちんと伝えていきましょう。皆さん一人一人が「関電への要請」をつくってください。11日に集め、届けたいと思います。

ビクビクする生活、子どもや孫にもこんな想いをさせる社会でいいはずはありません。皆さん、原発から抜け出すため 小さくても偉大なる一歩を踏み出そうではありませんか。(関電への要請文は別紙にあります。)

フクシマ事故が起こって2ヶ月あまり、事故は未だに収束していません。見通しの立たない深刻な状況が続いています。これまでの原子炉建屋のすさまじい破壊は、水素爆発でした。4月12日に1号炉で、14日に3号炉で、15日には2号炉で大きな爆発が起きました。高い濃度の放射性物質が周辺に飛び散りました。

定期検査中の4号炉では、14日に使用済み核燃料がはいっている貯蔵プールの温度が急上昇しました。原子炉内の核燃料と同じように冷却し続けないと危険なのだと改めて分かりました。やはりおそろしい怪物ですね、原発は。

核燃料の長さ4m、絶対にあってはならない空だき状態が続いていたのです。冷却できないまま、ずっと空だきになっていたのです。

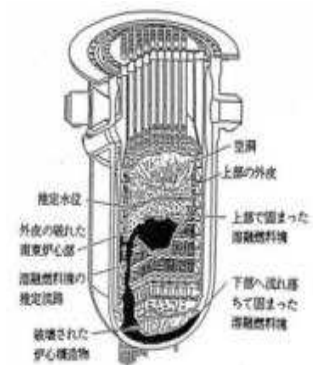
フクシマ事故前までは、巨額の富と強力な権力で



(5月15日 福井市 150人行進)



(関電へ 「要請」文を届けましょう)



TMI原発で起きた炉心溶融事故

おしまわれた原発推進政策。  
国と電力会社がスクラムを組み、  
原発メーカーの東芝、日立、三菱重工などと、  
金力と権力を発揮し、  
あらゆる手段を使って原発推進を図ってきました。

その宣伝力、洗脳力はすさまじいものでした。  
「原発のおかげで電力はまかなわれている。  
原発の電力を使いながら反対する輩はおかしい、  
原発は安全だ、安い、そしてクリーンだ。  
CO<sub>2</sub>対策に原発を！これからは、オール電化だ。」と  
大宣伝をくりかえしてきました。



(やがて、放射能まみれのがれきは、どこへ?)

そんな矢先、福島第一原発事故が起こったのです。  
原発は本質的危険性をはらんでいます。  
原発を動かす限り、重大事故は避けられません。  
膨大な死の灰を含んだ核燃料は、常に冷やさないと、  
自らの発熱を抑えることができないのです。  
発熱で温度が高まり、どろどろに溶ける事故が生じます。  
もっとやっかいなのは、制御棒も融け落ちる、勝手に  
核分裂連鎖反応が起こり始め、暴走してしまう危険があるのです。



手前のタンクが  
見えなくなる津波



冷却のため利用するのが、海水です。  
日本では海岸線にたくさん原発を建ててきました。  
この海岸線は、大地震、津波を受けやすいところです。

大災害を起こしてきたところにもかかわらず、大丈夫だと、  
学者の権威を最大限利用して「原発は地震に強い」と、  
宣伝を繰り返してきました。

あれも起こって、これも起こって、だから地震  
だったら大変なことになる、お答えのしよ  
うがありません。  
想定しませんと割り切らなければ原発の設  
計なんかできません。(安全委員長の弁)



3月11日のM9.0の地震動は、  
原発の耐震設計の基準となる地震動を  
超えていました。  
4月7日の余震(M7.4)でも、強い地震動が女川原発を襲い、  
基準地震動を大きく超えました。  
4月11日の余震(M7.1)でも、福島第一原発1～3号炉  
の外部電源がすべて遮断され、  
50分間にわたり炉心への  
注水不能状態に陥ったのです。  
余震ですら、原発の耐震性を保証する基準を

はるかに超える地震動が襲ったのです。

「大津波は思いもよらなかった」とごまかし  
弁明しているようですが、そうではありません。

2009年の6月に開かれた  
原子力安全・保安院の審議会で、  
869年貞観津波を教訓にすべきと  
岡村委員に指摘されました。

つまり、東電も国の規制当局も  
大津波が福島原発を襲う危険性を知りながら  
「想定外」ですませていたのです。

ところが、貞観津波を4m未満に見積もろうとしていたことが・・・

福島原発の安全審査(バックチェック)では、  
M7. 9の地震が最大規模のプレート間地震  
として想定されていました。  
今回のM9. 0の地震とでは、  
エネルギー規模で45倍もの違いがあります。  
これは、原子力安全・保安院および原子力安全委員会  
による重大な行政的過ち(瑕疵)です。  
規制当局は猛省し、安全基準を見直すべきです。

同じように、直下地震や近隣での大地震にも  
耐えられると言いつづけてきた  
関西電力を厳しく問いただしていきましょう。  
若狭の原発でも、地震による重大事故が  
いつ起きてもおかしくありません。  
すべての原発を止め、耐震性評価と  
地震・津波対策を根本からやり直し、  
耐震性なき原発は閉鎖するように  
追い込んでいきましょう。

子どもや孫に  
安心して生活できる  
心豊かな新たな時代へと  
バトンタッチできるかどうか、  
今まさに問われています。  
ヒロシマ、ナガサキ、JCO、フクシマの痛みを  
繰り返してはならない



朝日新聞



これ以上のヒバクシャを生み出さないために、  
しっかりと腹をくくりたい

「100mSv以下は健康に影響ない」という人は  
信用できません。

被害者は、これから何十年と

健康管理をし続けたいといけないのです。

記録を残しておきましょう。健康手帳に記録してきましょう。

被害者の切り捨てを許してはなりません。

被害を小さく見せ、事故は何事もなかったかのようにして、

責任逃れしようとするのは国、電力の常套手段なのであります。



「人々の健康、命を守るために」 次の内容を実現させていきましょう。

- ・ **詳細な汚染・被ばく線量マップの作成**
- ・ **汚染土の除去や隔離**
- ・ **局所的汚染地域への立ち入り禁止、さらには高濃度汚染地域からの早期避難**
- ・ **福島県の住民に健康手帳を交付し、長期的医療・生活保障の体制を**

#### 4・26 「愛する飯舘村を還せ！ 村民決起集会」より (参加者の意見抜粋)

- ・ 放射能という津波が、次々と襲った村、国は大丈夫だと繰り返し、今度は「避難せよ」という。どういうことなの？！
- ・ 子どもたちの健康を守りたい。内部被ばくについて正確にわからない、これ以上の被曝量を増やさないで。
- ・ 健康診断をきちんとやって欲しい。放射能汚染、どう考えても 原発事故は人災です。
- ・ 直ちに影響がないと言う学者は、「放射能は、たばこの煙より怖くない」といわれました。年寄りには信じたのに・・・。
- ・ 私たちが生きているという証しとして、生活、健康の丸ごと、私たちを償え、避難先も国が責任もっておこなえ。
- ・ 「絶対安全、安心といていたのに、放射能をばらまきました。」 これは、犯罪にならないのでしょうか？
- ・ 貧しいながらもがんばろうとする姿が美しかった村、人、生き物全てを大切にする。そんな村が、なくなるなんて。

◆◆◆◆◆ 「編集後記」 ◆◆◆◆◆

- ・ 新聞折り込み基金のご協力のおかげで、「森の国から」のNO6をおくることができました。次号も美浜町へおくることができそうです。お礼を申し上げます。(たよりは、同封しています)

- ・ フクシマ事故を受け、浜岡原発の運転は全て中止されました。大地震が起こる可能性は浜岡だけではありません。日本列島全体が地震の巣です。関西の水瓶である琵琶湖が汚染されたらと思うと、ぞっとします。関電の原発が重大事故を起こす前に止めたいです。声をあげていきましょう。 きよ子

◆◆◆◆◆